

令和7年度 学校保健統計調査（確報）滋賀県結果

文部科学省が公表しました令和7年度学校保健統計調査（確報値）を基に、本県の結果を取りまとめたので公表します。

調査の概要

学校保健統計調査は、学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的として昭和23年度より毎年実施されています。

調査結果の概要

1. 発育状態調査

（1）身長および体重の平均値

- ・身長は、5歳では、男子は全国平均値より0.1cm低いですが、女子は全国平均値より0.2cm高くなっています。17歳では、男子、女子ともに全国平均値よりそれぞれ0.3cm、0.4cm高くなっています。
- ・体重は、男子、女子ともにすべての年齢で全国平均値より低い値になっています。

（2）肥満傾向児および痩身傾向児の出現率

- ・肥満傾向児の出現率は、男子、女子ともにすべての年齢で全国平均値を下回りました。
- ・痩身傾向児の出現率は、男子は6歳、8歳、12歳および16歳で、女子は6～9歳および15～17歳で全国平均値を下回りました。

2. 健康状態調査

（1）裸眼視力1.0未満の者の割合

- ・裸眼視力1.0未満の者の割合は、全国平均値と比較すると、幼稚園で2.3ポイント上回り、小学校で2.5ポイント下回りました。
- ・裸眼視力1.0未満の者の割合は、小学校1年生で18.9%、小学校2年生で24.1%、小学校4年生で38.5%となりました。

（2）むし歯（う歯）の者の割合

- ・むし歯（う歯）の者（治療済の者を含む）の割合は、高等学校をのぞくすべての学校種で全国平均値を下回っています。
- ・むし歯（う歯）の者（治療済の者を含む）の割合は、17歳が36.5%と最も高くなっています。

※結果の概要にかかる資料は、滋賀県ホームページの以下のページに掲載しています。

<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/tokei/kyouiku/hoken/348599.html>